

じしゅべんきょう すす かた 自主勉強の進め方

じぶん がくしゅう すす
自分で 学習を進めていくことができる
人になろう!!



きょう がくしゅう おも だ にかて かんが
1. 今日の学 習を思い出し、やりたいことや苦手なことを考 えて、

りゆう か
「理由」を書きましょう。

* にかて かんが じしゅべんきょう きょう りゆう
* 苦手なことなどを考 えることが、どうしてその自主勉強を今日するのかという「理由」になります。(よしゅう かんが
予習しておきたいことを考 えてもいいですね。)

れい なら か
(例)「ひらがなを習ったよ。ひらがなをていねいに書きたい。」

かんじ わ
「漢字は、へんとつくりに分けることができるんだ。」

きょう ちそう べんきょう ちそう し
「今日、地層について勉強しました。どのようにして地層ができるのかを知りたい。」

わ
「～をしたけど、よく分からなかった。」など

りゆう か
2. 「理由」から、「めあて」をきめて書きましょう。

れい か
(例)「ひらがなをていねいに書こう。」

かんじ み ぶん つく ちそう かた よしゅう
「さんずいの漢字を見つけて、文を作ろう。」 「地層のでき方を予習しておこう。」

なに かんが
「～ができるようになるためには、何をすればよいかを考 えよう。」など

か
3. 「ふりかえり」を書きましょう。

じぶん き たっせい か
・自分が決めた「めあて」が達成できたかどうかを書きましょう。

(できるようになったこと・ わ 分かったこと)

(例)「くりあがりの1をわすれずに書くと、まちがえずにできるようになった。」

ちそう かた すこ わ あした はっぴょう
「地層のでき方が少し分かった。明日の発表をがんばりたい。」など

つぎ もくひょう か
・次への目 標も書けるといいですね。

(できるようになりたいこと・ つぎ しら 次に調べたいこと)

れい こんど ざん
(例)「今度は、ひき算にちょうせんしたい。」

かんじ つか ほか し
「さんずいの漢字を使えるようになった。他にどんなへんがあるのか知りたくなった。」

にほん ゆにゅう きかい ちゅう しゃく しゃく しゃく
「日本の輸入で、機械類のわりあいが高かった。どうして、機械類が高いのかを調べてみたい。」など